



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 株式会社ヤマザワ

上場取引所 東

コード番号 9993 URL <http://www.yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博

TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	76,687	11.0	2,814	55.2	2,835	54.7	1,562	97.4
23年3月期第3四半期	69,061	0.1	1,813	△8.0	1,833	△7.6	791	△18.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,539百万円 (92.9%) 23年3月期第3四半期 798百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	143.59	143.48
23年3月期第3四半期	72.74	72.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	46,759	27,557	58.9
23年3月期	41,978	26,362	62.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,546百万円 23年3月期 26,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
24年3月期	—	18.50	—		
24年3月期(予想)				13.50	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	9.9	3,450	33.3	3,500	32.8	1,900	145.8	174.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,960,825 株	23年3月期	10,960,825 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	78,572 株	23年3月期	78,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,882,369 株	23年3月期3Q	10,882,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興が徐々に進み経済活動が再開、持ち直しの兆しはあるものの、福島原発の問題が長期化しており、また欧州危機等による円高、株安の長期化など、非常に厳しい状況が続きました。

小売業界におきましては、一部の地域において震災復興需要が見られたものの、競合各社の新規出店や低価格政策による競争の激化など厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、全社一丸となって各施策の実行及び検証を行なってまいりました。

なお、当連結累計期間はスーパー創立50年を迎える節目の年となります。50年の永きにわたりご支持いただいたお客様への感謝の気持ちとして、「ありがとうの50年」と題し各種企画を実施いたしました。

当第3四半期連結累計期間の新規出店といたしまして、平成23年12月に宮城県大崎市に古川北店と古川バイパス店（ともにドラッグ併設）を同時開店し、スーパーマーケット事業は山形県内43店舗、宮城県内21店舗の合計64店舗となりました。ドラッグストア事業におきましては、上記の2店舗に加え、平成23年12月に山形県尾花沢市に、ドラッグ尾花沢店を開店しました。また、既存店の活性化といたしまして、平成23年5月に白山店（山形県山形市）の改装を実施いたしました。生鮮売場を中心に買いやすい売場への変更と、併設しておりましたドラッグ売場を拡大し利便性の向上と品揃えの充実を図りました。

販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行ってまいりました。

また、毎日午後2回のタイムサービスを全店舗で継続実施いたしました。野菜や日配品を中心に数量を限定して価格を通常より大幅に下げて販売し、好評を得ており定着してまいりました。お客様サービスの向上といたしまして、クレジットカードによるレジ精算を導入し、利用店舗を順次拡大して8月より全店舗で利用可能となりました。

これらの取り組みにより、売上面では、震災の影響により6店舗において一時休業を余儀なくされたものの、客数が伸び、お客様1人あたりの買上点数も増え増加いたしました。利益面におきましては、お客様の低価格志向への対応や、スーパー創立50年販促企画による価格訴求を行なったことなどにより売上総利益率は低下したものの、売上高の増加により売上総利益は増加いたしました。

一方、販売費及び一般管理費におきましては、節電対策により光熱費の削減となったものの、販売費等の費用が増え増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、766億87百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は28億14百万円（同55.2%増）、経常利益は28億35百万円（同54.7%増）、四半期純利益は15億62百万円（同97.4%増）となり増収増益となりました。また平成23年4月7日に発生しました東日本大震災の余震による店舗の建物被害等1億7百万円を災害による損失として特別損失に計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は467億59百万円となり、前連結会計年度末と比較して47億81百万円の増加となりました。

資産の部においては、東日本大震災により閉店しておりました店舗の営業再開及び商品供給体制の回復や売上高の増加等による商品及び製品の増加、新店出店等に伴う建物及び構築物などの有形固定資産の増加及び現金及び預金の増加等となりました。

負債の部においては、災害損失引当金及び短期借入金の減少等がありましたが、売上高の増加に伴う商品の仕入による買掛金の増加、新店出店に伴う工事代金の未払計上等による流動負債その他の増加等となりました。

なお、純資産は275億57百万円となり、自己資本比率は58.9%となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月24日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,485,091	8,804,404
受取手形及び売掛金	500,270	629,709
商品及び製品	2,635,879	4,168,011
仕掛品	1,027	650
原材料及び貯蔵品	111,827	98,695
その他	1,510,558	1,107,689
流動資産合計	11,244,655	14,809,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,516,632	11,906,257
土地	13,520,993	13,673,241
その他(純額)	1,442,007	2,159,619
有形固定資産合計	26,479,633	27,739,118
無形固定資産	1,221,933	1,199,544
投資その他の資産	3,031,777	3,011,541
固定資産合計	30,733,344	31,950,204
資産合計	41,978,000	46,759,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,369,778	9,096,417
短期借入金	1,340,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	714,521	539,673
賞与引当金	418,100	115,000
役員賞与引当金	14,500	20,470
ポイント引当金	423,772	510,497
商品券回収損失引当金	66,178	50,913
災害損失引当金	515,165	—
その他	3,444,042	4,237,637
流動負債合計	12,506,059	15,770,609
固定負債		
退職給付引当金	455,311	471,494
資産除去債務	757,810	788,431
その他	1,896,207	2,171,064
固定負債合計	3,109,329	3,430,990
負債合計	15,615,388	19,201,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,192
利益剰余金	21,881,422	23,095,769
自己株式	△89,309	△89,521
株主資本合計	26,386,023	27,600,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,434	△53,429
その他の包括利益累計額合計	△30,434	△53,429
新株予約権	7,022	11,037
純資産合計	26,362,611	27,557,766
負債純資産合計	41,978,000	46,759,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	69,061,506	76,687,798
売上原価	49,790,536	55,390,236
売上総利益	19,270,970	21,297,561
販売費及び一般管理費		
給料	6,303,374	6,699,453
賞与引当金繰入額	104,121	112,442
役員賞与引当金繰入額	17,640	20,470
退職給付費用	74,284	73,875
ポイント引当金繰入額	457,054	510,497
減価償却費	1,166,909	1,203,528
その他	9,333,893	9,862,987
販売費及び一般管理費合計	17,457,277	18,483,254
営業利益	1,813,692	2,814,306
営業外収益		
受取利息	5,095	5,007
受取配当金	7,790	7,676
その他	23,607	23,810
営業外収益合計	36,494	36,495
営業外費用		
支払利息	9,149	7,893
その他	7,735	7,669
営業外費用合計	16,885	15,563
経常利益	1,833,301	2,835,238
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,767	—
固定資産売却益	153,852	15
災害損失引当金戻入益	—	51,217
災害見舞金収入	—	52,315
その他	—	22,431
特別利益合計	158,619	125,981
特別損失		
投資有価証券評価損	33,008	—
固定資産除却損	37,177	32,358
固定資産売却損	—	702
減損損失	29,664	45,072
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	451,828	—
災害による損失	—	107,037
特別損失合計	551,678	185,170
税金等調整前四半期純利益	1,440,242	2,776,048
法人税、住民税及び事業税	787,284	1,059,918
法人税等調整額	△138,603	153,546
法人税等合計	648,680	1,213,465
少数株主損益調整前四半期純利益	791,561	1,562,583
四半期純利益	791,561	1,562,583

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	791,561	1,562,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,740	△22,995
その他の包括利益合計	6,740	△22,995
四半期包括利益	798,302	1,539,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	798,302	1,539,588
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。